

令和5年度第3回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和6年2月14日（水）午後2時00分～午後3時30分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員（5名）

伊 藤 由美子（委員長）

藤 田 素 弘（副委員長）

赤 木 邦 男

小 寺 直 美

山 下 亨

事務局（7名）

高 橋 潔（総務部 部長）

大 原 満千子（総務部 契約監理課 課長）

種 村 悟（総務部 契約監理課 主幹）

長谷川 安 成（総務部 契約監理課 課長補佐兼検査指導係長）

伊 藤 佳 奈（総務部 契約監理課 契約調達係長）

満 仲 弘（上下水道部 企画総務課 課長）

中 川 裕 美（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事等担当課（8名）

津 吉 歌奈子（都市整備部 都市管理課 建築営繕室 室長）

西 脇 聖 二（都市整備部 都市管理課 建築営繕室 主査）

神 保 智 久（都市整備部 都市管理課 建築営繕室）

城 田 一（上下水道部 水道課 課長兼水道技術管理者）

加 藤 英 二（上下水道部 水道課 課長補佐兼施設係長）

小 林 信 幸（都市整備部 土木課 課長）

小 林 伸 行（都市整備部 土木課 課長補佐兼建設係長）

事 項

1 開 会

【事務局】

それでは定刻になりましたので、令和5年度第3回入札監視委員会を開催いたします。
本日はご多忙の中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

着座にて失礼いたします。最初に総務部長からご挨拶を申し上げます。

【総務部長】

改めましてこんにちは。総務部長の高橋でございます。

本日、皆様お忙しい中、入札監視委員会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

昨日今日と陽気が良くなってまいりました。まだ、寒さがぶり返すときがあるかもしれませんが、だいぶ過ごしやすくなってまいりました。

そんな中、ニュースを見ていると、また新たに県の方で入札に関する談合の事案が出てきています。我々としても十分に気をつけないといけないと感じております。

色々と委員の皆様からご指摘いただいている点につきましても、少しずつではありますが、改善をしていきたいということで、今日も最後の方で少し入札制度の見直しを行ったことについて、ご報告をさせていただけるのかなと思っております。

いずれにいたしましても、常に公平公正、適正な入札事務を行うということが我々に課せられた使命でありますので、今日も何件かご審議をいただきますけれども、本日も委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきながら、少しずつ改善に向けて我々も取り組んでまいりますので、本日はどうぞよろしくお願いをしたいと思います。

【事務局】

ありがとうございました。

本日の議事につきましては、お手元の事項書に基づき進めさせていただきますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、桑名市入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立していますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、伊藤委員長からご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくをお願いいたします。

【委員長】

委員の皆さん、本日もお集まりいただきまして、ありがとうございます。

昨今の色々なニュースを聞いていますと、もちろん災害のこともあります。特に建設業や運送業もそうですが、いわゆる人の問題、賃上げをしたにもかかわらず、人手不足が続いているというような商工会議所のリサーチの結果も出ているようです。建設業の方は残業規制の問題があつて、自社を何とか生き残らせるために必死な面もあるかと思います。そこに適正な競争と企業の有り様に対して、入札監視委員会もどこまで機能できるのかという部分もありますけれども、少しずつ、先程、総務部長がおっしゃったように、少しずつでも良くなっていけばいいと思います。

こういった毎日のなか緊張感を持って、本日の委員会も進めさせていただければと思っております。

どうぞご協力をよろしくお願いします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、伊藤委員長に議事進行いただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは事項書に従って議事を進めて参りますので、よろしくお願いいたします。

本日の会議は一般公開となっておりますが、現在、傍聴の希望をされる方は、お見えになっておりません。また、途中で傍聴される方がお見えになる可能性もありますので、その時点で傍聴の可否についてお諮りさせていただきたいと思います。

2 議事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

それでは、早速審議に入りたいと思います。

「議事(1) 入札及び契約手続きの運用状況について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

はい、それでは「(1) 入札及び契約手続きの運用状況について」説明いたします。

資料の1ページをご覧ください。

①の指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります、令和5年9月から令和5年12月の4か月の間に指名停止を講じた件数は6件です。

この6件は三重県が実施した指名停止に合わせまして、桑名市も同等の措置を講じたところでございます。

②の談合情報でございますが対象期間に寄せられた情報はございませんでした。

説明は以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいまの説明についてご質問、ご意見はございませんか。

なお、議事録作成の関係もありますので、ご発言の際は必ずマイクを使用してくださいようお願いします。

いかがでしょうか。

《意見等なし》

【委員長】

無いうでしたら、次へ行きたいと思います。

(2) 抽出事案の審議について

【委員長】

続きまして、議事の（２）抽出事案の審議についての項目に移ります。

審議に先立ちまして、抽出案件５件について説明を得るため、入札監視委員会条例第６条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますがいかがでしょうか。

《全委員了承》

それでは関係者の出席を求めます。

《発注担当課入室》

【委員長】

それでは、審議に先立ちまして、今回の５件の抽出理由について小寺委員から説明をお願いします。

【小寺委員】

資料３ページになります。

１件目は事後審査型の一般競争入札で応札者の中で失格が多いということ、２件目は落札率が高いということ、３件目は応札者の数が多いということ、４件目は落札率が高いということと発注金額が高額であることと随意契約について、５件目も随意契約ですが落札率が高いということで５件抽出いたしました。

【委員長】

はい、ありがとうございました。

抽出事案 １ 羽田町公営住宅解体工事

【委員長】

それでは第１案件「羽田町公営住宅解体工事」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【都市管理課】

都市管理課建築営繕室の津吉です。よろしくお願いします。

件名は、羽田町公営住宅解体工事。

履行場所は、桑名市大字島田５８５番地地内。

履行期間は、令和５年１０月３日から令和６年１月１２日まで。

予算額は、１５,０６４,０００円に対し、設計金額、１５,０４８,０００円。

工事の概要につきましては、羽田町公営住宅の解体１０９～１１２号、１５３～１５６号になります。

１枚めくっていただくと位置図が付いておりまして羽田町全２３棟のうちの網掛け箇所の２棟が解体になります。

各１棟はさらにめくっていただきまして、配置図が付いておりまして平屋建てのＰＣ造、プレキャストコンクリート造の市営住宅になります。

工事概要は以上です。

【事務局】

入札参加資格要件は、解体工事業又は建築工事業の特定又は一般の許可業者であること、所在地は市内までとし、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であることとします。

技術者要件としては、現場代理人と、主任技術者のほか石綿作業主任者の配置を求め、同種工事施工実績として、平成20年度以降に、官公庁が発注した案件で、建築物の解体工事または、民間が発注した案件で延べ床面積80㎡以上の建築物の解体工事の施工実績を有することとし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、11ページをご覧ください。

令和5年9月20日に開札を行いましたところ6者から応札があり、3者が最低制限価格を下回ったため失格となり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で最も低い金額において2者が同額であったため、くじ引きを行いました。その結果、有限会社ナカムラ建設が落札候補者となり、事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き1,274万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいまの説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

【小寺委員】

半数が失格で最低制限価格を下回っていますので、もしかしたら予定価格の設定が高すぎたのではないかと思います疑問を持ちました。最低制限価格はどのように設定されたのでしょうか。

【委員長】

お願いします。

【都市管理課】

建築営繕室の西脇です。回答させていただきます。予定価格については公共建築工事の積算基準に基づいて積算しています。単価等は建設コスト、建設物価を使っております、それらを積算して算出しております。

【小寺委員】

ありがとうございます。

【委員長】

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

それでは私が一つ質問させていただきます。今のに係してなのですが、解体工事の場合の積算というのやはり基準があるのでしょうか。例えば作る方であれば、どの材料だったらという積み上げ、あるいはどういう工法でという積み上げになると思うのですが、解体の

場合だと、もとはどういうものであったらとか、重機を使えるのか使えないのかがあると思うのですが、そのような基準があるのですか。

【都市管理課】

建物の規模によって使う重機が変わると思うのですが、刊行物の単価の中に重機を使った取り壊し費用が立米(m³)当たりいくらであるとか、そういった単価が載っていますので、その単価を基に、今回はプレキャストコンクリート造なので、コンクリート何立米(m³)解体でいくらという形で算出しています。

【委員長】

はい、ありがとうございます。なかなかこの値段が高いのか安いのか一般にはわかりにくいところがございますので、結果として最低制限価格を下回る数字を出されているところが多いということは最低制限価格が高いのではないのかなという疑問を持つというのも頷ける話ですが、はい、ありがとうございます。他にご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

いかがでしょう、無いようでしたらこの案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。

《意見等なし》

それでは問題なしとします。

抽出事案 2 成徳中学校公共下水道接続工事（プール接続工事）設計業務委託

それでは、次に第2案件「成徳中学校公共下水道接続工事（プール接続工事）設計業務委託」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【都市管理課】

都市管理課建築営繕室、津吉です。引き続きよろしくお願いします。

件名、成徳中学校公共下水道接続工事（プール接続工事）設計業務委託

履行場所、桑名市東汰上 415 番地 1 地内

履行期間、令和 5 年 11 月 7 日から令和 6 年 2 月 29 日まで

予算額 1,070,300 円に対し、設計額 1,058,200 円

概要につきましては、成徳中学校の公共下水道の接続工事に関する設計図及び設計書の作成になります。

位置図の成徳中学校の南側がプールになっておりまして、現在プール横の側溝に排水されている排水を下水道の迎え管に接続する工事になっております。概要は以上です。

【事務局】

続きまして事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の 15 ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、桑名市入札参加資格者名簿に登録のある本店・支店等が建築士法による登録業者であること、所在地は県内までとし、技術者要件として、管理技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、16 ページをご覧ください。

令和 5 年 10 月 25 日に開札を行いましたところ、功建築設計事務所 1 者から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内であったため、落札候補者となりました。事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き 96 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

はい、ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問ご意見はございませんか。では、お願いします。

【小寺委員】

大きく 2 点質問がありますが、下水道への接続工事という所で、担当課が都市管理課で外注をしたということですか。例えば、役所なので水道課や土木課とかそういった所で設計とかはできなかったのでしょうか。

【都市管理課】

建築営繕室の西脇です。お答えします。

下水道の本管を布設する工事は下水道課で工事していますが、建物から出る排水を公共下水につなぐ部分については、施設側から出る排水ということで、施設を管理する側で工事することになっています。施設等建物改修工事については都市管理課の建築営繕室の方に委任していただいて工事していますので、今回の設計業務委託の方も委託していただいたという流れになります。

【小寺委員】

はい、ありがとうございます。もう一点ですけど、設計費に 100 万円くらいかかるということで建物から下水管に引くというところでは、何か複雑な設計ですか。工事規模に対しての設計金額になるのでしょうか。

【都市管理課】

既存のプールの排水の図面が残っていないくて、現地調査に何度も通ってもらい行わなければいけなかったことですか、排水が何本もプール側から出ていまして、それらの排水をどのような経路で下水管につなぐかとか、そういった検討が必要でしたので、予定価格としてはこの価格で設定させていただきました。

【小寺委員】

はい、ありがとうございます。

【委員長】

ありがとうございます。いかがでしょうか。質問、ご意見等がありますか。

じゃあ、すみません、また私からですけれども、そもそもの話かも知れないですが、プールは以前からあるものであり、排水も何らかの形でそれなりにしていらっしゃったと思いますが、この度下水に直接引き込むための工事をする必要性というのは何から生じたものなのか教えていただければと思います。

【都市管理課】

下水道が整備されまして、整備された後には速やかに下水道のほうへ排水の接続を切り替えなさいという決まりがあることが要因です。

【委員長】

はい、わかりました、ありがとうございます。他にご意見、ご質問等がありますか。

なければこの案件につきましても問題なしということではよろしかったでしょうか。

《意見等なし》

はい、では問題なしといたします。

抽出事案 3 橋梁等法定点検業務委託

それでは、次に第3案件「橋梁等法定点検業務委託」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【土木課】

土木課の小林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

では、案件3番の橋梁等法定点検業務委託につきましてご説明させていただきます。

概要から説明させていただきます。

件名、橋梁等法定点検業務委託、履行場所につきましては、市内一円でございます。

履行期間は、令和5年11月14日から令和6年3月29日までとしております。

設計額につきましては、8,950,700円でございます。

業務の概要につきましては、橋梁の長寿命化や修繕、架け替えにかかる費用を縮減、平準化するために5年以内の法定点検を実施しております。今回の点検では、15m未満の橋梁を46橋、15m以上の橋梁のうち、梯子で点検できるものが2橋、高所作業車が必要なものは5橋で、計53橋を点検する業務委託でございます。概要の説明は以上となります。

【事務局】

続きまして事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の19ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、建設コンサルタント登録規程による部門登録がある業者であること、

所在地は県内までとし、技術者要件として、管理技術者と、照査技術者の配置を求め、兼任は不可とし、同種業務履行実績として、平成 20 年度以降に官公庁が発注した案件で、橋梁点検診断業務の履行実績を有することが必要とし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、20、21 ページをご覧ください。

令和 5 年 11 月 1 日に開札を行いましたところ 19 者から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で最も低い金額において 17 者が同額であったため、くじ引きを行いました。その結果、新三重技術開発株式会社が落札候補者となり、事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き 671 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

はい、ありがとうございました。それでは、今の説明に関しましてご意見、ご質問をお願いいたします。

【小寺委員】

毎度ですけど、17 者同額という所で、県内まで範囲を広げている理由は。

【委員長】

はい、お願いします。

【土木課】

ただいまのご質問に対してお答えさせていただきます。県内まで広げた理由といたしましては、設計金額に合わせて基準が県内まで広げられるというところで、競争性を確保するためです。今回の点検業務について、業者の参加数がかかなり多いということですが、難しい部門ではありますが、橋梁の法定点検でありますので業務としては、現場、書類整理など平均約 1 日程度で行っていただけるものですので、業者さんとしては、効率の良い業務になるということから、参加が多かったと考えております。以上でございます。

【委員長】

はい、よろしいですか。いかがでしょうか、ご意見、ご質問はありますか。

【副委員長】

聞き逃しましたが、18 頁の位置図に斜めに斜線がありますが、このラインの意味は？この範囲でということですか。

【総務部長】

そうです。市内全域での 53 橋ということです。

【副委員長】

桑名市は、これで全部ですね。

【土木課】

いえ、本市の橋梁の総数としては 600 橋超えておりますのでそのうちで令和 5 年度に点検するのがこの 53 橋。それと、職員で橋梁点検も行っており、5 年以内で終わるようなス

ケジュールでやっております。

【副委員長】

はい、わかりました。

【委員長】

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。ご意見、ご質問はありますか。すみません、またちょっと私からですが、この最低制限価格に 17 者も張り付いてしまうという現象が起きているという話ですけれども、応札業者を県内まで広げたということで、市内にある業者と、遠くにある業者と、やる業務は同じであっても、遠くの業者であれば当然交通費など余分にかかるはずであろうところが、全く一緒になっているということが不思議に思うわけです。確かに競争を、と狙う所はわかりますが、結果として競争になってないですね。みんな同じ数字を出していただく引きで当たったか外れたかという世界になっている。これをもってして、競争性が保たれると言っていいのかどうか、こういう金額が並ぶようであれば、後からだから言える話かもしれないですが、じゃあ、市内業者で良かったのではないかと思います。制度としてそれをしてしまうのが良いのかどうかはまた全然別の問題かもしれませんが、競争性の確保ということと、公正ということ、できれば市としても市内業者の育成という部分もある程度考えられる必要があるのかなと思ってみると、今のこの 17 者同額で出て、県内までエリアを広げて落札したのがどちらの地域にいらっしゃる業者かわかりませんが、遠くの方に来ていただく理由があるのかとちょっと疑問に思いました。意見ですけれども。何かもし、それに対してコメントがあればどうぞ。

【土木課】

現在この業務を履行できる業者としましては、条件として、鋼構造及びコンクリートなどの技術士などの資格を求めています。その中で、市内の業者を検索すると、0 者。準市内においては 17 者程度となっております。市内業者を守りたいという思いはありますが、競争性を保つ、又は当市の基準の範囲内でやっております。さらに遠くの所から参加していただいて、本市のほうで業務をやっていただくにあたっても、こちらから設計した金額で請け負っていただく、その中で交通費も含め利益がある状態で請け負っていただくということが前提の入札という認識で、問題ないと思っております。

【委員長】

はい、ありがとうございました。他にご意見、ご質問等あればお願いします。

特に無いようであれば、この件につきましても問題なしとしてよろしいでしょうか。

《意見等なし》

それでは問題なしとします。

抽出事案 4 橋梁等法定点検業務委託（能部跨道橋外 1 橋）

それでは、次に第4案件「橋梁等法定点検業務委託（能部跨道橋外1橋）」について、発注担当課から委託概要と随意契約理由の説明をしていただき、その後、事務局から見積経過について説明をお願いします。

【土木課】

続けてよろしくお願いします。

件名、橋梁等法定点検業務委託（能部跨道橋外1橋）でございます。

履行場所、桑名市大字能部地内外でございます。位置図のほうに能部跨道橋、それともう一つが蛇谷橋という2橋の点検業務であります。

履行期間につきましては、令和5年10月2日から令和6年3月26日までとしております。

設計額につきましては、10,998,900円であります。

業務委託の概要につきましては、先の橋梁点検と同様に5年以内の法定点検を実施するものであります。今回は東名阪自動車道の上を跨ぐ跨道橋のうち、能部跨道橋と蛇谷橋の2橋を点検するための業務委託でございます。

発注方法につきましては随意契約で発注しております。随意契約理由書をご覧ください。契約の相手方には、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社を指名しております。随契の理由につきましては、中日本高速道路株式会社の管理する高速道路を跨ぐ、市管理の能部跨道橋と蛇谷橋の点検や健全度評価を行うもので、この点検等において、安全かつ適正な交通規制を実施するため、管理者と密接な調整及び橋梁点検業務に精通している必要があります。このことから、当市と跨道橋の管理に係る技術協力に関する協定を締結しており、点検及び健全度の評価案の作成について主体的な役割を担っているのが中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社であります。よって、今回の点検業務の相手方として中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社と随意契約を締結いたしました。根拠法令に関しましては記載のとおりでございます。概要の説明については以上でございます。

【事務局】

続きまして、見積経過及び結果について説明いたします。

資料の26ページをご覧ください。

令和5年9月26日に見積り合わせを行い、指名業者の中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社から見積を徴しましたところ、予定価格の範囲以内でしたので、税抜き996万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

はい、ありがとうございました。それではただいまの説明についてご意見、ご質問等お願いします。

【小寺委員】

まず金額的な問題ですけど、跨道橋を点検するのに足場を組んだりする必要があるから、このように高額でしょうか。

【土木課】

金額につきまして、他の橋梁点検と違って高額になっている点については、委員のおっしゃっている通り、点検に必要な技術者であったり、橋の上から点検できるように点検車を入れたりしております。また、高速道路上でございますので、万が一落下物があってはいけないということで交通規制も行っております。その交通規制に係る費用が結構高額なものとなっておりますので、今回2橋ではありますけれどもこのような金額となっております。

以上でございます。

【委員長】

はい、いかがでしょうか。

【小寺委員】

はい、ありがとうございます。点検業務には結構業者さんがたくさんみえると思うのですが、この跨道橋の場合はネクスコでないと駄目な理由はあるのでしょうか。

【土木課】

今年度、ネクスコ中日本さんと協定を結ばさせていただきました。それ以前につきましては、5年前の点検の時にしましては、協定を組まずに高速道路内で作業ができる技術者ということで縛りをかけて発注をしています。交通量の多い高速道路でございますので、安全性を確保するためにどうしても縛りが必要となっております。

【委員長】

よろしいですか。

【小寺委員】

はい、ちょっとイメージとして、点検をするのに安全面から道路止めるのは理解できますけど、たとえば中日本の子会社ではなくて、本社のネクスコ中日本と連絡を取ってやればいいのかと思います、それはどうですか。

【土木課】

以前は委員おっしゃられるように、親会社で管理者でありますところと協議をしながら、資格を持っている業者を市が先導して行っていましたけど、そのやりとり、業務の進め方につきまして、高速道路側の本社のほうで、安全な工事現場、エリアを確保するうえで、やはりネクスコ中日本さんが目を配る必要があるという思いのもとで、協定を結びました。そのほか、三重県も同様に協定を結んで同じような工法で業務を行っております。三重県に倣ってということもありますが、安全第一ということで今の流れもあり、このような発注形態となっております。

【委員長】

いかがでしょうか。

【小寺委員】

随意契約というところでは、点検に精通しているということだけでは理由にならないということですが、監督官を置いてやれば良いのではないかと思い、質問させていただきました。三重県に倣ってということですが、他の市町もいっぱい跨道橋はあると思うのですが同じ様にしていると理解してよろしいでしょうか。

【土木課】

全市町ではないですが、高速道路の上にかかっている橋のある市町ではほとんど協定を結ばれていると聞いております。全部に聞いているわけではないので申し訳ないのですが、大半は同じようなやりとり、協定を結んでいると認識しております。

【委員長】

よろしいですか。

【小寺委員】

はい。

【委員長】

いかがでしょうか。ご意見、ご質問等がありますか。

すみません、私が質問させていただきたいのですが、先ほど交通規制に係る部分の費用がかなりの割合を占めるとおっしゃったと思うのですが、実際全体に対して何割くらいそういった費用が掛かるのでしょうか。

【土木課】

概算ではありますが、約半額くらいです。一回規制するだけではなく、場所を変えるたびに規制をどんどん変えていきますし、日数がかかればその分費用がかかってしまいますので、主に交通規制の費用がこれにより大きくなります。

【委員長】

ちなみにちょっと遡ってしまいますが、この前の案件の橋梁点検、高速道路ではない場合だとそのようなことはしなくて良いわけではないと思うのですが、同じように交通はあるなか、そのあたりはやはり高速道路となるから費用負担は大きいのでしょうか。

【土木課】

はい、どうしても高速道路上での交通規制と、一般の市道で交通規制するのとでは範囲や期間というものも大きく変わってきます。市道であれば大半は交通規制をせずに橋の下那点検は容易にできるのですけれども、どうしても高速道路の上を走っている状態ですので、下を規制しないとできない。また、橋の上から点検車両で点検することもあります。そういったことも含めての平均した金額、1橋あたりで考えると、やはり民間主導の点検とは金額は大きく異なってきます。

【委員長】

ありがとうございました。よくわかりました。他にご意見、ご質問等はいかがでしょう。特に無いようでしたら、これについても問題なしとしてよろしいでしょうか。

《意見等なし》

はい、それでは問題なしとします。

抽出事案 5 南部水源地受電盤断路器取替修繕工事

それでは、次に第5案件「南部水源地受電盤断路器取替修繕工事」について、発注担当課から工事概要と随意契約理由の説明をしていただき、その後、事務局から見積経過について説明をお願いします。

【水道課】

水道課の城田でございます。着座にて失礼いたします。概要書をご覧ください。

件名は、南部水源地受電盤断路器取替修繕工事でございます。位置図をご覧ください。

履行場所は、桑名市島田地内の南部水源地で行いました。概要書にお戻りください。

履行期間としては、令和5年10月2日から令和6年3月15日まで、予算額は税込1,041,000円、設計額が809,600円でございます。

施工理由といたしましては、平成7年に設置した高圧受電盤の断路器が点検した結果、経年劣化により動作不良が判明したことにより事故を未然に防ぐために取替工事をした次第でございます。

随契理由といたしましては、本修繕工事は令和4年南部水源地施設設備点検により、受電盤断路器（1995年製）の不良と判断されたため、無負荷時に電圧を開閉できない危険があり重大な電力事故につながる恐れがあることから、取替修繕を行うものであります。当該業者は、既設設備設置業者であると共に機器を設置し保守点検を行った業者であります。他の業者に危機を交換させた場合、本修繕機器は既設盤内にあることから、他の主要機器に多大な影響が出る恐れがありますので、株式会社三重日立と随意契約を締結するものであります。ご審議のほどよろしく申し上げます。

【事務局】

続きまして、見積経過及び結果についてご説明いたします。資料の34頁をご覧ください。令和5年9月26日に見積合わせを行い、指名業者の株式会社三重日立から見積もりを徴しましたところ、1回目2回目共に予定価格を超過しておりましたので、協議を行い、税抜き736,000円で契約を締結いたしました。説明は以上でございます、ご審議の程よろしく申し上げます。

【委員長】

はい、ありがとうございました。それでは、ただいまの説明につきまして、何かご意見、ご質問お願いいたします。

【小寺委員】

受電盤断路器は、当該業者以外でも業者はいるのでしょうか。

【水道課】

はい、お答えします。盤内をいじるということは、完成図等とサイズに関してもそれに合

わせて作っているということで違うメーカーですと合わない場合があります価格が高くなるのと、早く修繕ができるということで随契いたしました。

【小寺委員】

はい、ありがとうございます。先ほど2度ほど見積もりをしたとお聞きしたのですが、一部であれば日立の製品を使うというのはわかるのですが、他社でもこの部品で交換するのであればいくらかいであるか見積を出しても良かったのではないかなと思います。

【水道課】

はい、本当にその値段が妥当であるかは調査いたしまして、桑名市内の電気会社にも見積もりをいただきました。

【小寺委員】

ここに書いてない。

【水道課】

随契ですので、参考見積として日立が出した見積もりが妥当かの確認をさせていただいております。

【事務局】

補足の説明をさせていただきます。今回修繕ですが、工事扱いになっておりますので、工事の場合は事務局の企画総務課を通して契約を行うことになっております。その下準備として見積もりを取られたのだと思います。元々の予定価格については、他の工事と同様、設計したうえで出していただいた数字でございます。

【小寺委員】

ありがとうございました。

【委員長】

はい、それではほかにご意見、ご質問等。いかがでしょうか。

では、私から質問させていただきますが、今回の場合、受電盤が不良を起こしたということでそこを取り替えたわけですが、本体全体からすると、いつ頃まで使う予定のものなのか、この度交換したものはあと何年くらい使える予定のものなのか。

【水道課】

受電盤に関しては、電気保安協会によると、だいたい設置から20年ということですが、5年なり7年なりで正常な動きかどうかを点検しています。今回は断路器に動作不良がありましたので一部の取替を行いました。

【委員長】

では、全体としてはあと何年くらい使えるのでしょうか。

【水道課】

受電盤が使えない場合は取り替えますが、予測では25年くらいは使えるのではないかと考えられます。

【委員長】

他にご意見、ご質問いかがでしょうか。特に無いようであれば、この案件も問題なしとしてよろしいでしょうか。

《意見等なし》

はい、それでは問題なしとします。ありがとうございます。

次回の審議案件の抽出は順番により、山下委員となります。よろしくお願いします。

(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて

続きまして、議事の3番、入札・契約制度における課題・取組みについて事務局から説明をお願いします。

【事務局】

はい。では、(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて、今回は3項目、「随意契約の適正な運用について」「災害時における入札方法について」「地域の建設業者の受注機会の確保について」、関連しますので、まとめてお手元の資料によりご説明申し上げます。

これらの3項目に関しましては、品確法や運用指針に沿った内容となりますので、資料では、その内容と関連する地方公共団体あての国からの通知などを掲載しています。

地方公共団体における調達とは、その財源が税金によって賄われるものであるため、より良いもの、より安いものを調達しなければなりません。

そのため、地方公共団体が発注を行う場合には、不特定多数の参加者を募る調達方法である「一般競争入札」が原則とされています。

一方、この原則を貫くと調達の準備に多くの作業や時間が必要となり、結果として当初の目的が達成できなくなるなどの弊害が生じることがあり得ます。このため、「指名競争入札」や「随意契約」による調達が例外的な取り扱いとして認められています。

特に、災害応急対策または災害復旧に関する工事において、緊急性に応じて、随意契約や指名競争入札など、適切な入札及び契約の方法を選択できます。

さらに地域活性化の観点からは、地元企業が受注し地域経済に貢献することも求められており、この点も踏まえ調達がなされる必要があります。

以上について制度面からまとめると、地方公共団体の調達について定める地方自治法では、最も競争性、透明性、経済性等に優れた一般競争入札を原則として掲げつつ、一定の場合には、指名競争入札、随意契約による方法により契約を締結することが認められています。また、地方自治法施行令では、入札に参加する者の資格要件について、事業所所在地を要件（いわゆる地域要件）として定めることを認めるとともに、総合評価方式による入札では、一定の地域貢献の実績等を評価項目に設定し、評価の対象とすることが許容されており、これらをもって地元企業の受注機会の確保を図ることが可能となっています。

さらに、官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律において、地方公共団体は、国の施策に準じて、中小企業者の受注の機会を確保するために必要な施策を講ずるよう

に努めなければならないとされています。

各地方公共団体においては、これらの規定を適切に活用していくことが求められており、本市におきましても継続して実施してまいります。

3項目の資料説明は、以上でございます。

今回の本委員会では、意見書の中から2件の項目について、「総合評価落札方式の評価基準について」、「低入札価格調査制度について」のご説明を予定しております。

最後に、本日、資料を配付させていただいております、総合評価落札方式につきましてご説明いたします。

その評価項目につきまして、資料のとおり、(1) 不当要求防止責任者講習の受講実績、(2) 災害協定締結の有無、(3) 地元業者施工率の3項目を追加して、カフェテリア方式という、入札参加者が対象項目から選択でき、一定数取得すれば満点とする方式の導入を行います。

この資料につきましては、先月末にホームページに公表いたしましたので、お知らせいたします。

また、この内容につきましては、次回の本委員会で改めてご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

説明は、以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。それでは、ただいまのご説明について、ご意見ご質問をお願いしたいと思います。

【藤田委員】

最初の説明は、国の方針で、カフェテリア方式の導入というのは、市で国の方針を受けて行う方法という位置づけなのでしょうか。

【事務局】

説明は続けていたしましたが、当初の資料につきましては、国からの通知などをまとめた内容をご説明し、区切りまして本日配付した資料は、次回の委員会でご説明する項目でして、最新で公表をした内容のご報告でございます。その内容としては、カフェテリア方式は三重県などで採用したものを本市でも導入するものでございます。

【委員長】

まず、ひとつは、今日の議題としては、「随意契約の適正な運用について」「災害時における入札方法について」「地域の建設業者の受注機会について」、国からの通知等はこうなっているというご説明をしていただいたわけですが、これに関してはいかがでしょうか。

当然、国からの通知に関しては、桑名市としては、これを遵守した形で運用はされているということが前提であると思います。

ご質問ご意見などは、ございますか。

【藤田委員】

今回の説明ということですが、災害協定はどんな状況でやられているのか。地域の建設団体との緊密な連携とはどのような形でやられていますか。

【事務局】

市長部局としましては、建設業団体の市内 18 事業者と災害協定を締結しているところです。

【事務局】

上下水道部の方は、主に市内の水道事業者がつくっている組合がありまして、そこと災害協定を結んでおります。

あと、下水道などのその他土木工事は、市の災害協定と共通しております。

【事務局】

補足でございますが、資料 2 ページの 3 ですが、地域の建設業団体等との緊密な連携について、国が推進しておりまして、意見交換会を通じた緊密な連携を図ることとされ、毎年度、我々契約担当課、工事担当課の桑名市役所のメンバーと建設業団体の事業者とで対面で意見交換会を開催しているところです。

【委員長】

この度の 3 項目はどれも重要なことで、今年の元旦に発生した能登地震の災害を見ますと、やはり事前にどういった関係性をきちんと築いておくかということを含め、そういった事態の時にどうしたらいいか、事前準備についても話し合われているといいなと思ったりするわけです。実際はどうでしょうか。実際に災害に起こった時にどうしようかということ建設業団体と話し合ったりするのでしょうか。

【事務局】

災害時の対応として、大きな災害もちろん必要ですが、小規模であっても、維持工事や修繕など緊急性を要することもありますので、事業者にはそれにも対応していただいております。建設業団体からは、災害の訓練実施の要望をいただくなど、毎年度実施している意見交換会では、市の防災所管課が要望を受けて出席しておりまして、災害対応について連携を図っているところです。

【委員長】

災害は起こらないといいですが、起こった場合の初動が大事だと思いますので、きちんと対応していただいているので安心につながると思います。

それでは、この件についてはよろしかったでしょうか。

《意見等なし》

今回は、「総合評価落札方式の評価基準について」、「低入札価格調査制度について」 お願いします。

(4) その他

【委員長】

次に「(4) その他」ですが、委員の皆様何かございますか。

《意見等なし》

【委員長】

それでは、事務局から何かありますか。

【事務局】

特にございません。

3 閉 会

【委員長】

それではこれにて、令和5年度第3回入札監視委員会を終了させていただきます。なお、本日の審議内容は、後日事務局でまとめていただきたいと思います。本日はありがとうございました。